

俳句を写真画像と共に楽しむ 〈奇数月28日発刊〉

●しゃらくかい 写楽同会

令和6年 秋の号 [vol.89]
(9・10月)

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

投稿先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2024 Sharakukai



秋(9・10月)の兼題「秋の色」 出題:iSAMU

写真俳句の部

(掲載ランダム)



青空に秋色映える通い道

(季語: 秋色=秋)

千泉



雨上がり敷き詰められし秋の色

雨上がり敷き詰められし秋の色

(季語: 秋の色=秋)

準坊



興じつつ目線上げると秋の色

興じつつ目線上げると秋の色

(季語: 秋の色=秋)

iSAMU



トンネルを抜け黄葉の只中を

トンネルを抜け黄葉の只中を

(季語: 黄葉=秋)

昼寝覚



コスモスの柔らか揺れに歩が止まり
(季語：コスモス=秋) 陽閑



いわぬいろ
不言色密かに咲くや秋桜
(季語：秋桜=秋) 池福楼
[不言色；日本の伝統色、黄色に少し赤が混ざった色。]



ゆらりゆら眼下に秋の色湧きて
(季語：秋の色=秋) 久芽



夕陽うけ銀の風見ゆ花芒
(季語：花芒=秋) 水澄



^{しべ}
紫に補色の蕊の桔梗なり
(季語：桔梗=秋) 福来雀

※ 梵木さんは今回は都合によりお休みします。

重なりてなおも赫きや七竈^{ななかまど} 福来雀 (季語：七竈=秋)

秩父路の沢の流れも秋の色 久芽 (季語：秋の色=秋)

秋空に黄金色燃ゆ大銀杏 池福楼 (季語：秋空=秋)

猛暑過ぎぼつりぼつりと秋の色 千泉 (季語：秋の色=秋)

秋色を訪ね吟行古刹に入る 準坊 (季語：秋色=秋)

ゴンドラの宙^{そら}より愛^めでる秋の色 水澄 (季語：秋の色=秋)

世情病み熱い茶飲む秋に入り マム (季語：秋に入り=秋)

カルメンの裾ひるがえる曼珠沙華 昼寝覚 (季語：曼珠沙華=秋)

無花果の按配みるに触れてみる 陽閑 (季語：無花果=秋)

群れ行くや信濃の野辺を赤蜻蛉 一枝 (季語：赤蜻蛉=秋)



季語解説

秋色 (しゅうしょく) = 秋の色・秋光・秋の光・秋望。

秋景色・秋の風色のこと。和歌では「秋の色」として使い、紅葉や黄葉などの具体的な色を念頭に置く場合が多いが、俳諧になって抽象的に使われることが多くなった。

「秋光」もまた、和歌では「秋の光」として使い、月光について言う場合が多いが、今日では陽光の明るさを籠めて秋の風光を賞美する言葉として使われることが多い。【秋】

花芒 (はなすすぎ) = 芒・尾花・鬼芒・糸芒糸・芒原。

芒は屋根を葺くのに使用したため、カヤともいう。花穂が開くと真っ白な獣の尾を思わせるような形となり尾花と呼ばれる。風に一斉になびくさまは美しい。【秋】

七竈 (ななかまど) = 七竈はバラ科の落葉高木で山地に自生するが、庭木や街路樹としても植えられる。

秋に鮮やかに紅葉する。実も葉におとらず真っ赤に色づく。【秋】

桔梗 (きぎやう) = 秋の七草の一つ。観賞用に。庭などにも植えられる。園芸品種には白い花もある。【秋】

コスモス = 秋桜 (あきざくら)。メキシコ原産の一年草の花。白・淡紅・紅など色とりどりで美しい。

風雨で倒れてもまた起き上がり花をつけ、晩秋まで咲き続く。【秋】

千泉

秋色のスーツ似合わぬ歳となり [秋は諦め冬に期待]

言い訳を考えながら買い物す [健康? 値段?]

準坊

アトラクション? のたうち廻る新競技 [ブレイキンだって]

本閉じて葉外れて読み直す [あ〜あ!]

真っすぐに歩くつもりが右左 [酔ってるのかな?]

陽閑

一個値やサイズと質に時間かけ [結局買わず終い]

お互いの備忘シェアよ役立たず [備忘したことも忘れて]

福朱雀

あと4年この世で見たい口ス五輪 [がんばります]

池福楼

うちのポチデコピンを見てうなだれる [素晴らしい始球式]

小石河昨日の友は今日の敵 [権力争いに本性を表す]



冬兼題「鍋料理」

イメージ写真

- 水澄さんより秋 11・12月号の兼題を「鍋料理」と出題していただきました。隔月という課題になりますが季節は幅広く捉えて自由に発想を広げて作句をお願いします。

締め切りは令和 6 年 11 月 20 日です。

- 写楽句会にご意見、ご希望等ございましたらお知らせください。

下記の iSAMU さんのホームページから「写楽句会」をクリックして頂くと写楽句会のバックナンバーが閲覧できます。

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

写楽句会 連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com

© 2024 Sharakukai

冬 (11・12月) の号 兼題「鍋料理」